

その他の取り組むべき施策

◇コンパクトなまちづくりの実現

施策	No	コンパクトなまちづくりの実現
	1	

目標	他都市のモデルとなるようなコンパクトなまちづくりの実現 《コンパクトなまちづくりに資する計画策定市町数：H20年代末までに8市》
----	---

現状と課題

- 市街地の拡大により、住宅・商業業務機能が郊外に立地し、中心部が空洞化
- 高齢者人口の増加と生産年齢人口の減少
- 厳しい財政事情から、拡散した居住者の生活を支える行政サービスの提供が、近い将来困難となる懸念

取組方針

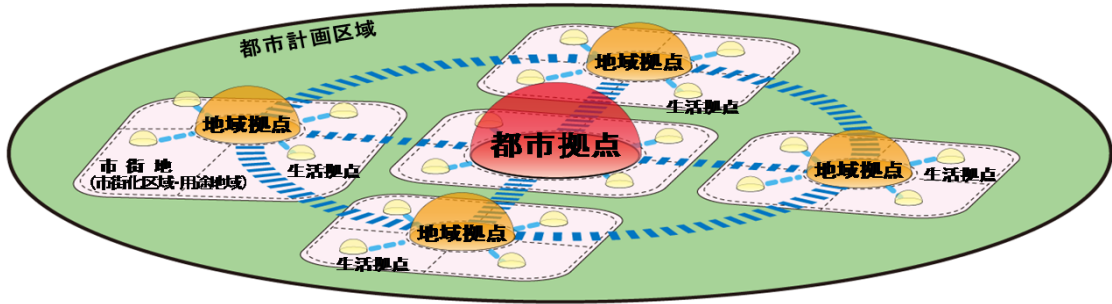
- 駅などの交通拠点の近くに、人や都市機能を集積し、子育て世代や高齢者が共に安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるモデル事業を実施するとともに、地域のコミュニティが形成されたコンパクトなまちづくりの実現のため、普及啓発活動を推進します。

具体的な取組

取組	<input type="checkbox"/> 「コンパクトなまちづくりモデル事業」の推進(県は各市町に対し取組を支援) <ul style="list-style-type: none"> ・ モデル事業実施箇所の実情を分析し、それぞれの地域特性を活かした手法の検討・実施 ・ モデルコミュニティの形成に必要な施設等の建設、誘致 ・ 子育て世代や高齢者が安心して暮らせるためのソフト施策の検討・実施 <input type="checkbox"/> 講演会等の普及啓発活動					
	工程表		平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度	平成28年度
コンパクトなまちづくり モデル事業の推進	柳井駅 周辺	●モデル地区決定(7月) 〈各地区への支援〉				
		●県支援チーム 設置(10月) 〈要望活動〉	●協議会 設置(7月)	●アドバイザー 派遣(9月)	●協議会 開催(4月)	●アドバイザー 派遣(10月)
		●政府要望(11月)	●政府要望(6,11月)	●政府要望(6,11月)	●政府要望	
	●まちづくり構想(案) 作成(～3月)	●まちづくり構想 策定・公表(11月)			●基本計画、 実施計画作成	
厚狭駅 周辺	●まちづくり構想(案) 作成(～3月)	●まちづくり構想 策定・公表(3月)			●基本計画、 実施計画作成	
		●複合型施設 着工(6月)		●複合型施設 開館(2月)	●土地利用の検討	
	●まちづくり構想(案) ・基本計画(案) 作成(～3月)	●まちづくり構想・基本計画 策定・公表(5月)		●複合型施設等 実施計画作成(3月)		
岩田駅 周辺		●複合型施設等 設計着手(10月)			●複合型施設等の 整備促進	
	●講演会(計3回) 開催(8,9月)	●シンポジウム 開催(1月)		●講演会 開催(1月)	●講演会 開催	
普及啓発活動の推進	●住宅フェア PR(10月)	●都市計画全国大会 PR(10月)	●立地適正化計画 研究会設置(6月)	●研究会 開催		
			●研究会開催(6,12,3月)			

事業の概要

<コンパクトなまちづくりのイメージ>



- 住宅や福祉・商業施設等を「都市」や「地域」の拠点に集約
- 拠点間の連携を強化し、不足する機能等を相互に補完・連携

<p>都市拠点</p> <p>都市の中心的な役割を担う拠点 ・高次の都市機能が多様に集積</p>	<p>地域拠点</p> <p>地域の中心的な役割を担う拠点 ・都市機能が集積 ・都市拠点を補完</p>	<p>生活拠点</p> <p>日常生活活動を支える拠点 ・生活サービス機能が集積</p>
---	--	---

モデル3地区のまちづくり構想



《コンパクトなまちづくりに資する計画策定市町数: H20年代末までに8市》

柳井駅周辺

■基本理念
 住み続けたいと思える「柳井らしい」まち

医療・福祉・健康・商業ゾーン
 公共施設ゾーン
 住居ゾーン

※ゾーン及び配置検討施設等の一例

厚狭駅周辺

■地域の将来像
 豊かな自然と長い歴史に抱かれた個性と魅力があふれるまち

複合型施設
 JR厚狭駅
 コミュニティ住宅ゾーン

岩田駅周辺

■基本的な方向
 誰もが安心して住み続けられる、快適で便利なまちづくり

県道光日積線・岩田停車場線
 JR岩田駅
 市道
 複合型施設 公営住宅